

施策評価シート(令和2年度実施施策)

総合計画 体系	政策	5	政策名	学びあい未来を拓く人づくり	施策主管課	教育文化課
	施策	5-4	施策名	地域文化の振興	施策主管 課長名	松本 由佳里
関係課	教育文化課					

1. 施策の目的

対象	①文化財・地域文化	意図	①保存・活用される
	②町民		②文化財や歴史に親しむ機会を持つ

2. 成果指標

指標名	単位	現状値	上段：目標値 下段：実績値				
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
町内文化財の保存・活用事業の件数 (増加)	件	73	90	91	92	93	94
			107	155	131	140	108
地域の歴史や文化財に親しむ機会を持った方の 人数 (増加)	人	710	750	800	850	900	950
			1,411	1,219	1,989	1,566	1,235

3. 指標の分析(成果が向上した、またはしなかった理由)

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による資料室等の休館などにより昨年度より減少したが、出前講座や「天海大僧正を知ろう授業」、資料室の定期開館(土日開館)をするなど活用機会の増加に努めた結果、目標値を上回った。
郷土資料館(仮称)への移転準備のため民俗資料館を休館にしたことにより昨年度より減少したが、地域再発見事業により地域にある文化財や歴史への関心が高まりつつあり、また向羽黒山城跡整備資料室を定期開館(土日開館)するなどにより目標値を上回った。

4. 課題に対する取組(今年度重点的に取り組んだ課題)

<ul style="list-style-type: none"> 郷土資料館(仮称)整備計画を策定し、展示テーマや展示イメージ、運営方法等について、郷土資料館整備検討委員会等で協議を進めた。 高田館跡の発掘調査について、高田館跡中心部付近の調査を行い、平安時代から戦国時代にかけての遺跡や遺物が確認された。 歴史まちづくり事業においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の上、文化財保存活用に向けた歴史講演会や町内の集落において地域再発見事業等を行い、町民が地域の文化財を見直すきっかけづくりを進めることができた。
--

5. 次年度の方向性

町内文化財の保存・活用を図る拠点となる郷土資料館(仮称)の改修工事の進捗に合わせ、展示や運営方法等の開館後の具体的な方向性を定め移転準備を進める。 また、町の歴史や文化に興味・関心を持っている町民は50%を超えているが、講演会等への参加者は20%を下回っているため、文化財保存活用に向けた歴史講演会や地域再発見事業を推進する。
--

重点的に取り組む課題

郷土資料館(仮称)の開館に向けた準備
歴史まちづくり事業の推進
向羽黒山城跡調査整備事業の推進と事業計画見直し
公共ホール音楽活性化事業の取り組みをはじめとする地域の芸術文化に振興

施策の重点事業

文化財保存・活用事業
遺跡調査・整備事業
地域文化振興事業

6. 施策を構成する事務事業

番号	事業通番	事務事業名	令和2年度決算額 (千円)	最終評価結果	
				事業実施の方向性	成果の方向性
1	4444	歴史資料室等維持管理事業	1,244	継続	現状維持
2	4628	向羽黒山城跡調査事業	2,409	継続	現状維持
3	4640	遺跡調査事業	8,438	改善して継続	拡充
4	5506	地域文化振興事業	3,591	改善して継続	拡充
5	5509	民俗資料収集・活用事業	199	継続	現状維持
6	5513	文化財調査事業	415	継続	拡充
7	13988	「会津の御田植祭」調査事業	891	廃止・休止又は統合	休廃止(再設定)
8	15028	歴史民俗資料館設置事業	42	改善して継続	拡充
9	15576	歴史まちづくり推進事業	394	継続	現状維持